

そして神戸港クルージング(つづき)

16時30分に集合し、乗船するコンチェルト前にて全員で記念撮影。いよいよ乗船。ジャズの生演奏に迎えられ神戸港クルージングのスタート。「コンチェルト船のディナークルーズ」は初体験。

ビールで乾杯するともうテンションは一気に急上昇。私、テレビ屋として38年。演出、しこみ、盛り上げはどうなっているのか、気になるのですが、まずは中華バイキングで腹ごしらえ。卒年に合わせてテーブル席を配慮してもらっている



(井上先輩のご発声で乾杯)



(大西46年、野田46年、高山45年)

話しやすい環境。ジャズ生演奏・歌ありのなか、船は明石海峡大橋付近めざして軽やかに進む。さて、腹ごしらえも出来て、全員で「逍遙歌」を合唱。この歌はまさに名曲。この歌を唄うと六甲山が青嵐の足立山に見えてきます。

もうそこは北方。あ、汚い部室が、学生時代に所属していた放送研究会です。おじちゃんのサバ屋に、おばちゃんの焼き鳥屋。もう小倉の親友と美酒を交わしてる気分。さまよい来たれば夕風の金波、銀波そして電波に揺られ、小倉から船に乗って神戸に着いた。そして大阪のテレビ局に就職。ディレクターやプロデューサーを経て、現在は関連の番組制作会社で青息吐息、来し方行く末ながめつつ、デッキをさまよう。逍遙の子がふと我にかえると、心地よい風がホホをよぎっていく。

大村支部長の同窓会に寄せる熱き思い「同じキャンパスで学び、兵庫県に居住する“縁”を大切にしたい。」—神戸湾の波風は、この“縁”って何かを静かに教えてくれる様な気がします。

神戸大震災から14年。久し振りに穏やかで、心安らぐ神戸の海でした。今回すばらしい企画をされました兵庫支部役員の方々に心から感謝致します。

大西敏(46国文)記

山下会長見事リベンジ

総会前イベント 山下会長歓迎囲碁大会

7月5日支部総会開始前に、一昨年と同様に囲碁大会をする事となり、三宮駅前の囲碁サロン「へボ」にて午前10時から開催。

山下会長は、早朝の出発の疲れも見せず、一昨年の大会で準優勝に終わった雪辱を果たさんと勝ち上がり、見事に優勝された。



準優勝は前原3級が、3・4位決定戦では、久し振りに姫路から駆け付けた後藤4級



が名越2級を倒して3位となった。当日の戦績は、右記の通り

前原 名越 安徳 山下 後藤 山本 河野

北九州市立大学同窓会兵庫支部
平成20年度収支報告書

一般会計

収入の部	前期繰越金	208,630
	同窓会会費支部還元金	28,000
	平成20年度総会・懇親会会費	234,000
	支部総会への本部助成金	36,000
	高森千賀子支援金預かり金	1,000
	支部事務費への本部助成金	40,000
	平成20年度忘年会会費	180,000
	銀行利息	314
	収入合計	727,944
支出の部	平成20年度総会・懇親会費用	208,620
	備品購入(横断幕)	18,857
	本部総会パンフ広告出稿代金	15,000
	本部総会チケット代金	20,000
	支部活動功労者被表彰者旅費	25,000
	関西支部総会会費	8,000
	平成20年度忘年会費用	206,080
	会議費	1,000
	運賃・通信費	4,362
	事務局経費	12,000
	次期繰越金	199,325
	支出合計	727,944

兵庫支部NEWS会計

収入の部	前期繰越金	144,644
	購読料	87,000
	収入合計	231,644
支出の部	作成費	34,276
	郵送費	49,210
	文房具費	1,660
	郵便振替手数料	5,480
	購読料返還	330
	次期繰越金	140,688
	支出合計	231,644

以上相違ないことを報告いたします。

平成21年7月5日 北九州市立大学同窓会兵庫支部

支部長 大村 実良@
会計幹事 吉本 富雄@
会計幹事 松山 仁@
兵庫支部NEWS発行責任者 名越 英昭@

支部規約第7条に基づき会計監査を実施致しました結果、収支とも適正に処理されていることを認める。

平成21年5月17日 北九州市立大学同窓会兵庫支部

会計監査 河野 旺生@
会計監査 平間 正昭@

山下会長歓迎囲碁大会トーナメント戦結果



3・4位決定戦 5・6・7位決定戦

高森千賀子支援カンパ 35,600円

7月5日開催された兵庫支部総会・懇親会で、今年6月に発行された「北友会会報」に掲載された記事を紹介し、高森千賀子(44米英)のインド・カジュラホでメダカ小学校を運営するボランティア活動(授業料をはじめ、制服、教科書、文房具や衣料品など無償支給)について参会者に紹介。



兵庫支部では数年前から支部(北友会会報を手に活動を紹介します)で支援金カンパのほか、会員が持ち寄った古着や文房具などを送り、支援を続けている。



(募金箱に投与)

今年の支援金カンパは「北友会会報」に記事掲載の効果か、35,600円の寄付が寄せられた。昨年の預かり分1000円を加えた36,600円の送金手続きを終えたと会計幹事から報告

兵庫支部総会で

メダカ小学校へ寄付をいただいた方々へ

この度は、我がメダカ小学校は多額の義援金をいただきまして、本当に有難うございます。

7月から新学期が始まり、新入生の受付をしています。生徒の制服、靴や教科書代として利用させていただく予定です。大変有難うございます。また今後ともご支援のほどを、どうぞよろしくお願いいたします。

平成21年7月8日 メダカ小学校 高森千賀子

メダカ小学校サルマン先生の日本滞在記

サルマン先生にとっては、日本へ行くのは初海外旅行、初飛行機で、何もかも初めての経験だった。イント人が来日するにはビザが必要で、兵庫支部副支部長の安徳さんに彼の保証人になっていただいた。

メダカ小学校は、山口県防府市立小野小学校と交流を始めており、今回の来日は学校視察も目的の一つだった。生徒一人一人用の机に椅子、専用の下足箱など我が校のように床に座って勉強するスタイルとは大違いだ。広い校庭、体育館、図書室、調理室そして給食システムに目を見張り、素晴らしい環境の下で勉強している生徒の様子に感動していた。

滞在中、最も困ったのが食事だった。特に彼は、舌が麻痺する位の辛いのを好むのだ。日本へ行く前に「郷に入れば郷に従えだから、日本食を食べよう努力すべきだ」と彼を洗脳してきた。最初は和食とキムチで我慢していたが、インド料理店が何処にでもあり、スーパーでもカレーが手に入るのが分かったと、もうカレー一辺倒になり、和食には目もくれなくなった。安徳さん経営のインド料理店で兵庫支部の方々が「歓迎パーティ」をして下さり、彼は大喜びだった。

カジュラホの人々は、ホテルやマンションのような閉鎖的空間が苦手だ。ここではどの家も平屋か2階どまりで、誰でも自由に出入り可能だ。彼は息が詰まり、一日に何度も外へ出て息を吸い、足が地面についている感触を確認していた。日本は地震が多い国だと聞いているので、それも恐れていた。

彼が一番驚いたのは、聞きしに勝る日本の物価。ノ

「雲南茶苑」で最後の「三金会」

李紫君ママ美味しい雲南料理を有難う!!

6月19日(金)午後6時、ここ「雲南茶苑」での最後の「三金会」が開催された。

出席者:大村、河野、平間、山本、名越、二宮、前原安徳、山田、三宅、ゲスト:謝美華、青木かおる

先月号でお知らせしたとおり、ご実父の看病のため故郷雲南省に帰ることになったもので、来週末(6/26)には閉店となる。ママ李紫君さんは中国雲南省の南、ベトナムと国境を接するシーサンパンナ地域の中国少数民族のイー族の出身。この度ご実父の看病のため、店をたたんで帰国するという。中国の人には親の介護を仕事を投げ打ってでもすべきという風習があるのだという。それが子供の世代になり受け継がれて行くのだと。



三金会は事務局作成の総会パンフ資料をもとに協議。安部高之(H1)参加で同窓生45名、同伴者・ゲストは10名を予定しており、来賓4名を加えて総勢59名だが、本部からも一人追加ある予定。

山下会長から、一昨年と同様に総会開催前に囲碁の会開催の打診があり、当日の朝、午前10時から三宮駅前の囲碁サロン「ヘボ」にて開催することを決めた。平間「囲碁の会」会長は残念ながら所要の為欠席となるが山下会長3段に対し山本初段、名越2級、前原3級、赤松3級、安徳4級、河野7級がトーナメント戦で対局する予定。終わりに感謝の意を込めて大村支部長から花束が贈呈された。



(感謝の花束贈呈)



海外旅行となると、身内や親戚、友達がおみやげを強請る。何かを買おうとして、値札を見てはため息ばかりで手が出せず、専ら百円ショップで、三つ折になる布製の財布を多量に買い求めていた。

カジュラホで山と言えば、低いげ山くらいだし、海に行くには列車に丸一日乗らないと着けない。日本の山と海には心が和んだようだ。海水に足を浸け、味見して潮風に吹かれ、自然を堪能していた。今回の日本では、何ととっても日本人の親切さ、やさしさに心を打たれたようだ。パーティでお会いした皆様方に、くれぐれもよろしく伝えてくれと言っています。

「パ hott ダンニャワード(大変有難うございました)」

歩こう会6月例会

灘の酒蔵めぐり

4年ぶり4度目の「灘の酒蔵巡り」が6月14日に13名が集まり開催された。

第1回目は平成14年9月26名の参加者で開催され、その後平成15年9月14名、平成17年10名そして今回で4度目となる。



(参加者を紹介する二宮会長)

午前10時阪神魚崎駅に集合。二宮会長が本日の参加者を紹介する。同窓生は二宮会長、藤田、名越、安徳、澤田、山田の6名。

ゲスト参加者は角田、森岡、立川、大竹、蔡、坂上夫妻の7名、合計13名

4回目ともなるとコースは熟知。早速最初の目的地櫻正宗記念館「櫻宴」

に向かう。いつも館内を足早に見て回ってしまうのだが、あらためて気付かされることもある。「正宗」の元祖はこの酒造会社である。江戸時代は酒銘に力士や役者の名前が使



(最初の訪問地「櫻宴」に入る)

われていたが、経巻「臨済正宗」から「正宗」がセイシュウ即ち清酒に語音が通じると酒銘として使用。その後正宗が質の良い清酒の代名詞のようになり各酒造会社が使うようになった。明治に商標条令により正宗を登録せんとしたがすでに一般的に使用されていた為「櫻」を付けて登録したのだと。「宮水」の発見者も当家6代目だとのこと。

次に浜福鶴吟醸工房に立ち寄り、菊正宗酒造記念館を訪問。ここではガイド嬢が館内を案内してくれた。



(菊正宗記念館ではガイド嬢が案内)

ガイド嬢がつくのは初めの経験だ。何処の酒蔵にも大きな「杉の玉」が門前に吊り下げられている。これは奈良三輪山の大神(オオミワ)神社が酒の神とされ、杉が神木であることから作られ吊り下げられているのだと。

酒林(さかばやし)や杉玉(すぎだま)または「さかほうき」などと呼称されている。

館内を一周した後は、お決まりの試飲コーナーだ。種々のお酒を味見?した後、白鶴酒造資料館を訪問し、木村酒造による瀧鯉蔵元倶楽部「酒匠館」にやってきた。



(お酒の試飲コーナーで)

この入口は1997年に放送されたNHK朝ドラ「甘辛しゃん」に登場する蔵元の門玄関としてロケの撮影に使われたということだ。



もうすでに正午を過ぎており気持は昼食の方に。前回と同様に美味しいと評判の「赤ちゃん食堂」へと急ぐ。

13時を過ぎているというのに店頭には順番待ちの人数あり。我々も暫く待機してやっと昼食にありつく。



腹ごしらえが出来た所で再びウォーク開始。こうべ甲南武庫の郷でお土産を物色し、最終の酒蔵、澤の鶴資料館へと向かう。途中、昨年鉄砲水で4人もの犠牲

(都賀川の河口付近を望む)

者が出た都賀川を渡り、そっと手を合わせる。澤の鶴資料館を見物後、本日最初で最後の全員の集合写真を撮り散会。藤田・名越は更に西へ。



名越 安徳
坂上 夫人
二宮
森岡
角田
坂上 藤田
立川
澤田
山田
蔡 大竹

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

7月例会から 本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時

会費:3,500円

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時

参加費:無料、ドリンク/500P



損害保険・医療保険・がん保険
の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良
(昭和33年商学部卒)

652-0897
神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302
TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316